令和３年７月２４日　北海道新聞（朝刊/９面/地域の話題）
本学学生への食料品等配布について

苦境の商大生に食料品など配布

連合後志地協など

新型コロナ禍でアルバイトが減るなどで、生活が苦しくなった大学生を支援しようと、連合北海道後志地域協議会などでつくる実行委は21日、小樽商科大で食料品や日用品の無料配布を行った。

連合北海道や大学生協事業連合北海道地区などが取り組む「ほっかいどう若者応援プロジェクト」の一環で実施。寄付や企業からの無償提供で、米や缶詰、シリアルなどの食料品とせっけんなどの日用品を200人分用意した。

当日は1人暮らしをしている学生などが多く訪れ、支援品を受け取った。同大1年の山本剛さん(18)は「バイト先の飲食店が休業し、生活が不安だったので助かります」。3年生の女子学生(21)は「自炊をしているが食費がかかるので、支援はありがたい」と話していた。

（宮本夕梨華）

食料品を受け取る小樽商科大の学生たち

令和３年７月２１日　日本経済新聞（朝刊/３５面/北海道経済）
本学　110周年募金協力の広告（右下）

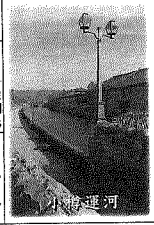
医療法人 北仁会
いしばし病院
院長 白坂 知信
小樽市長橋3丁目7-7 TEL(0134)25-6655
http://www.hokujin.or.jp

医療法人社団健仁会
森内科胃腸科医院
日本消化器内視鏡学会 認定 消化器内視鏡専門医・指導医
院長 森 康明　副院長 森 常明
仁木町北町1丁目6-2 TEL(0135)32-3465

食品添加物・工業薬品卸売
ポリエチレンフィルム印刷加工
合同化成株式会社
代表取締役 立花 慎吾
小樽市銭函3丁目503番地9 TEL(0134)62-7247
https://www.godokasei.co.jp

広告　自然と人が紡ぐ笑顔あふれるまち 小樽

問い・申込
株式会社広告センター
TEL(011)241-2550(代)


小樽運河

協力いただきながら、無理をせず、小樽を訪れていただければと思っております。

小樽市長
迫 俊哉

「活力あふれる小樽を目指して」

現在、小樽市では、将来のまちの活力を生み出す重要なプロジェクトとして「第3号ふ頭及び周辺再開発」、「JR小樽駅前広場の再整備」という、3つの中長期的な事業を着実に進めているところです。

「第3号ふ頭及び周辺再開発」は、中心市街地に近く運河を縁どりする観光資源が多くある第3号ふ頭及び周辺において、クルーズ振興とにぎわいある交流空間としての「みなと観光の拠点」を創出するため、大型クルーズ船に対応した岸壁や泊地のほか、クルーズターミナルやバス駐車場などの整備をするもので、民間投資と連動した一体的な整備により、この地域の魅力向上を目指しています。

「新幹線を活用したまちづくり」については、今年3月に策定した「おたる新幹線まちづくりアクションプラン」に基づき、官民が連携して地域に新幹線の開業効果を広げるためのさまざまな取り組みを進めることとしており、今年度は「本市が主体となって整備する新駅周辺駐車場の概略設計や、新駅の利用促進に向けた戦略の検討などを行います。

「JR小樽駅前広場の再整備」については、「本市の玄関口であるJR小樽駅前広場について、経済界等で議論されている隣接の駅前第一ビルの再開発と連携しての整備を進めていく必要があり、令和2年にJR小樽駅前広場再整備基本計画検討委員会を立ち上げ、令和4年3月の計画策定を目指しているところです。

また、コロナ収束後を見据え、観光資源を守り、育てる取り組みも進めます。

小運河や堺町周辺の観光エリアとともに、旧国鉄手宮線、旧日本郵船から小樽市総合博物館へ繋がる北運河地区は、小樽観光の周遊を高めるうえで注目のスポットです。その象徴的な建物である北海製罐倶小樽工場第3倉庫は、昨年9月に年度内に解体したいとの意向が示されましたが、その保存・活用策の検討のため1年間の猶予期間をいただきました。民間・経済界・有識者による「第3倉庫活用ミーティング」によって検討が進められており、今月、その中間報告として、市民のくらしと結びついた第3倉庫の活用、有形文化財への登録や市による建物の当面の保有が提案されたところです。活用にあたっては都市計画上の用途制限のほか、維持管理経費の確保など課題が少なくありませんが、10月末の期限までに庁内でも議論を進め、今後について所有者と協議していきたいと考えております。

「おたる潮まつり」が今月24日（土）には、昨年中止となった「おたる潮まつり」が、ウッドデッキ主体で開催されます。歴史あるまつりを絶やしたくないという熱い思いから、潮踊りや海太鼓のオンライン配信や、まつりの味覚をテイクアウトやデリバリーで楽しむ企画などが用意されています。

観光客の皆様には、感染拡大防止に御協力いただき、無理をせず、小樽を訪れていただければと思っております。

北海バネ株式会社
代表取締役社長 岸 俊之
小樽市銭函2丁目54番8号
TEL(0134)62-3521 FAX(0134)62-6086
http://www.hokkai-bane.co.jp/

焼肉・寿司バイキング
運河亭 元町店
〒085-0024 札幌市東区北24条21丁目1-3
TEL(011)214-9098
共楽食肉株式会社

安心と信頼 共済会取扱店
小樽興礼株式会社
代表取締役 関 光治
小樽市稲穂3丁目4番1号
0120-27-1801 FAX(0134)27-1804

発酵飲料のパイオニア
大高酵素(株)
代表取締役社長 今井 政一
小樽市桜1丁目22番10号

港湾運送事業・倉庫業・貨物利用運送事業
ノーススタートランスポート株式会社
代表取締役会長 大田 秀樹
代表取締役社長 中江 康三
小樽市港町5番4号
TEL(0134)22-5102 FAX(0134)31-7660
https://www.nstp.jp

ご贈答、お土産に小樽の味
株式会社かま栄
代表取締役社長 佐藤 公俊
本社／小樽市堺町3番7号
TEL(0134)25-6181

北海道中央バスグループ
小樽天狗山ロープウェイ
ワイン＆カフェレストラン
小樽ワイン

協和総合管理株式会社
代表取締役 山本 秀明
本社／小樽市若松2丁目8番15号
TEL(0134)27-2233 FAX(0134)21-2744

港湾コンサルタント
株式会社クマシロシステム設計
代表取締役 神代 順平
本社 北海道小樽市色内3丁目8番15号 フロンティアビル
TEL(011)632-1010 FAX(011)632-1011
小樽営業所／小樽市稲穂3丁目3番8号 稲穂ビル2F
TEL(0134)64-5370 FAX(0134)64-5371
https://www.pub.ksfnet.co.jp

「容器の総合メーカー」
北海製罐株式会社
小樽工場／小樽市色内3-1-1
TEL(0134)25-1221

オーエスマシナリー株式会社
代表取締役社長 佐藤 泰祐
小樽工場／小樽市銭函3丁目511-12
TEL(0134)62-5252 FAX(0134)62-4419
http://www.osmachinery.co.jp/

システムで「包む」。
株式会社トーモク
執行役員工場長 井上 光男
札幌工場／小樽市銭函4丁目157-2
TEL(0133)72-5151 FAX(0133)71-2090
http://www.tomoku.co.jp/

株式会社ミツウマ
代表取締役社長 大東 勝男
本社・小樽工場／小樽市奥沢4丁目26番1号
TEL(0134)22-1111
http://www.mitsuuma.co.jp

土木工事・防雪工事・法面保護工事
各種土木資材卸売・組立式ガレージ
北海道ガソン株式会社
代表取締役 水上 照康
小樽本社／小樽市天神2丁目19-11
TEL(0134)24-3388 FAX(0134)24-3434

ガスも、電気も、省エネも。
エネルギーのことなら北ガスへ。
KITAGAS
北海道ガス株式会社 小樽支店 TEL:0134-34-0919

電気工事・通信工事・消防設備工事
株式会社加藤電機商会
代表取締役 加藤 剛
〒047-0024 小樽市花園4丁目17-9
TEL(0133)33-6355 FAX(0134)32-7215

海官業
風邪に「改源」
医療用・一般用医薬品、医療機器、健康食品
カイゲンファーマ株式会社
真沢工場 小樽市真沢1丁目23番18号
TEL(0134)33-1800

株式会社アイケア北道
代表取締役 安田 友美子
本部／小樽市奥沢1丁目17-1 TEL(0134)31-3727
札幌支店／札幌市中央区南5条西3丁目10-97 TEL(011)520-5001

株式会社みらいサポート
サービス付き高齢者向け住宅
ぽえむヒルズ
代表取締役 渡邊 康宏
小樽市桜2丁目12-5 TEL(0134)61-1117
http://www.poemhills.co.jp

ワタキューセイモア株式会社
支店長 小原 章宏
北海道支店
小樽市新光5丁目13番3号 〒047-0198
電話 0134-54-6525
www.watakyu.co.jp

綿久リネン株式会社
北海道支店
支店長 嗣島 仁
小樽市花園2丁目7-13
TEL(0134)21-2828 FAX(0134)21-2829

舗装工事、土木工事、建築工事
リフォーム工事、除雪・排雪業務一式
株式会社みかみ建設
MIKAMI KENSETSU 代表取締役 三上 一臣
小樽市塩谷1丁目1-45 TEL(0134)26-3420

小樽商科大学
創立百十周年記念
募金協力のお願い
1. 学生の課外活動支援事業
2. 学生の国際交流支援事業
3. 研究者の国際交流支援事業
4. 新型コロナウイルス感染拡大による学生支援事業
詳細は HP をご覧ください。
https://kifu.otaru-uc.ac.jp/110aniv/

ウイングベイ小樽
http://www.wingbay-otaru.co.jp/
小樽市築港11番
Tel：0134-21-5000

一般建設業
株式会社 池下建築
代表取締役 池下 太一
小樽市潮見台2丁目12番14号
TEL(0134)24-0663

電気工事業
有限会社中澤電気工事
代表取締役 中澤 竜治
小樽市緑1丁目21番11号
TEL(0134)27-0299 FAX(0134)32-8582

建築設備工事業
株式会社エコホーム
代表取締役 出雲 淳
小樽市入船5丁目9番7号
TEL(0134)24-6351

一般建設業
株式会社A ROOM
代表取締役 宮尾 泰央
小樽市豊上1丁目28番1号
TEL(0134)31-2662

お陰様で創業10周年をむかえました！
注文住宅・店舗・宅建業・増築・リフォーム・土木工事・公共工事
株式会社アースビルド
代表取締役 呉 政儒
小樽市長橋5丁目7-11 TEL(0134)33-5100

各種ダンボール製造・販売、一般包装資材販売
協和資材(株)
代表取締役 石田 彰則
小樽市銭函3丁目522番地7
TEL(0134)61-2885 FAX(0134)61-2886
http://www.hsc.or.jp/kyowashizai/

令和３年７月１８日　朝日新聞　（朝刊/6面）
本学　張博一准教授が講師として掲載

PROFESSOR VISIT
プロフェッサー・ビジット

国公立大学の最先端授業をあなたの高校へ

【実施期間】
10月4日［月］▶12月17日［金］予定

主催：朝日新聞社　協賛：代々木ゼミナール

参加校募集！ 参加無料

国公立大学7校の多彩な教員が高校に訪問、またはインターネット配信で、全国の高校に最先端の授業をお届けします。

開催概要

7大学の教員が、全国各地のあなたの高校を訪問し（※）、現在行っている研究内容などをわかりやすく紹介する出張講義を下記のテーマで行います。対象は高校生で、講義時間は75～90分を基本とします（中高一貫校の場合は中学生の聴講も可能です）。講義の実施は、2021年10月4日（月）～12月17日（金）の平日（予定）。希望日時と各講師のスケジュールを調整の上、実施校を決定いたします。なお、各講師のプロフィールや講義内容（予定）に関する詳細は、「プロフェッサー・ビジット」の特設ページからもご覧いただけます。

（※）オンラインによる実施も相談可

応募要項

●お申し込み　インターネットで参加申し込みを受け付けます。
【インターネット】
https://manabu.asahi.com/profvisit/

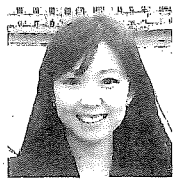
●締め切り　9月10日（金）

●訪問またはオンライン授業の決定　1大学につき1高校になります（計7校）。事務局で選考の上、実施の可否を代表者に連絡いたします（9月下旬を予定）。選考結果の問い合わせにつきましてはご遠慮ください。実施決定確認後、授業の内容、訪問日時の詳細等のご相談をさせていただきます。インターネット配信の場合は、パソコンや回線等の受信環境は高校にてご用意いただきます。

●問い合わせ先
プロフェッサー・ビジット事務局（朝日新聞社教育総合本部内）
e-mail　profvisit@asahi.com
※お問い合わせくださった方には、詳しい資料をご送付いたします。

小樽商科大学　講師　**張　博一**　商学部企業法学科 准教授　中国・吉林省出身／岡山県立岡山城東高等学校

法から国際問題をみる

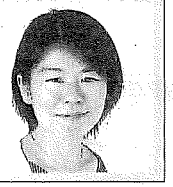


国際社会にも「法」が存在するのか。存在するとすれば、武力紛争、地球温暖化、新型コロナウイルスワクチンの公平分配など、なぜ多くの国際問題が解決されないのか。国家と国家の利益が対立したとき、国際社会の「法」は無力なのか。国際社会における国際法の役割と魅力を伝える。

ちょう　はくいち▶中国・長春市出身、10歳で来日。岡山大学法学部を卒業後、京都大学公共政策大学院、京都大学法学研究科博士後期課程を修了後、京都大学法学研究科助教を経て、2017年に小樽商科大学商学部企業法学科に赴任。2013年にイギリス・ロンドン大学クインメアリー校、2018年にアメリカ・ジョージタウン大学ロースクールで客員研究員。専攻は国際法（国際経済法）。

神戸市外国語大学　講師　**藤原　潤子**　外国語学部ロシア学科 准教授　兵庫県出身／兵庫県立兵庫高等学校

現代ロシアの呪術信仰の世界



1991年のソ連崩壊後、ロシアでは呪術信仰がリバイバルし、現在も続いています。ではロシアの人々は、どのように呪術を信じるようになるのでしょう？　また、呪術で何を解決しようとするのでしょう？　遠くて近い国ロシアの知られざる側面を紹介します。

ふじわら　じゅんこ▶日本学術振興会特別研究員、独立行政法人国際協力機構客員研究員などを経て、2015年より現職。学術博士（大阪外国語大学）。ロシアをフィールドとした文化人類学研究、ロシア児童文学の翻訳を行っている。著書に「呪われたナターシャ」（人文書院、2010）、「シベリア」（共編著、京都大学出版会、2016）、訳書としては、ウザチョフ作・イ、オレイニコフ絵「まぼろしの木」（東洋書店新社、2020）などがある。

公立諏訪東京理科大学　講師　**小越　澄雄**　学長　埼玉県出身／東京都立上野高等学校

AIのコモディティ化は可能か？

人類の進歩は知識を共有することによりなされた。現在、インターネットの普及等により共有できる知識の量は膨大となり、もはや人の処理能力を超えつつある。AIは多量の情報を処理し人が正しい判断をする道具となり得る。多くの人がAIをコモディティとして使う可能性について一緒に考える。

ここし　すみお▶東京大学工学系大学院博士課程修了後、イギリス・オックスフォード大学研究員を経て、東京大学講師、東京理科大学教授、公立諏訪東京理科大学副学長、学長。専門はエネルギー・環境工学で、核融合発電、プラズマプロセス、燃料電池、光触媒の研究を行ってきた。公立諏訪東京理科大学では、現場でのAI、エッジAIの開発を主に行っている。

滋賀大学　講師　**竹村　彰通**　データサイエンス学部　教授　東京都出身／東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校

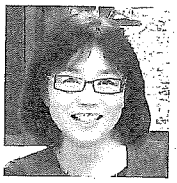
データサイエンスへの招待

データサイエンスとはどのような学問なのか、データサイエンス学部では何を学ぶのか、データサイエンスはどのように社会に役立つか、などについてお話します。

たけむら　あきみち▶東京大学経済学部卒。アメリカ・スタンフォード大学で統計学博士号を取得。東京大学経済学部および工学部で教授をとった後、2016年4月より滋賀大学データサイエンス教育研究センター教授として、滋賀大学データサイエンス学部設立にかかわる。2017年4月より滋賀大学データサイエンス学部長。現在に至る。

東京都立大学　講師　**串山　久美子**　システムデザイン学部インダストリアルアート学科 教授　長崎県出身／長崎県立長崎北高等学校

メディアアートって何だろう？



スマートフォンを始めIoT、5GやAIなどの新しい技術は私たちに身近なものになっています。社会との関わりの中で楽しい・驚きの知的体験を創造するための表現の試行や研究を例に表現の可能性を考えます。

くしやま　くみこ▶筑波大学大学院芸術研究科修了、博士（デザイン学）。メディア制作の株式会社グロースを起業後、JSTさきがけ研究員、2006年より現職に至る。デジタル技術を応用したインタラクティブアートやアクセシブルなインタフェースデザイン、公共空間でのローカル5GやバーチャルリアリティをB使用した表現や視触覚ディスプレイの開発など、多様性ある社会の中で思考するメディア表現とそれを支援する技術の研究をしている。

兵庫県立大学　講師　**日浦　慎作**　工学研究科 教授　兵庫県出身／兵庫県立小野高等学校

カメラの未来 ～画像認識で世の中はこう変わる～

もしコンピュータが画像に写っているものを認識することができたら、世の中はどんなふうに変わるでしょうか。この講義では画像認識の最新技術を紹介し、それによって未来がどう変わるのかについて考えます。

ひうら　しんさく▶1993年大阪大学基礎工学部電子応用工学科卒業。1997年同大学院博士課程修了、京都大学研究員。1999年大阪大学基礎工学研究科助手、2003年同助教授。2010年広島市立大学情報科学研究科教授、2019年兵庫県立大学工学研究科教授。2008-2009年アメリカ・マサチューセッツ工科大学メディアラボ客員准教授。反射現象・画面質感の解析、コンピュテーショナルフォトグラフィ等の研究に従事。博士（工学）。

広島大学　講師　**西原　禎文**　大学院先進理工系科学研究科（理学部化学科）教授　京都府出身／京都府立西舞鶴高等学校

「リチウムイオン電池の昔、今、そして未来」

吉野彰先生（2019年ノーベル化学賞受賞）が開発した「リチウムイオン電池」に関する解説をします。電池の仕組みから始まり、ボルタ電池、ダニエル電池、鉛蓄電池、そしてリチウムイオン電池が開発されるまでの過程を高校化学の範囲でお話しします。

にしはら　さだふみ▶2004年に北海道大学大学院地球環境科学研究科博士後期課程を修了、博士（地球環境科学）取得。その後、名古屋大学大学院理学研究科物質理学専攻にて日本学術振興会特別研究員として勤務。2005年から大阪府立大学大学院理学系研究科物理科学専攻・助教、2010年から広島大学大学院理学研究科化学専攻・准教授、2020年より現職。2011年に文部科学大臣表彰科学技術賞を受賞。

9月10日［金］応募締め切り

お申し込みはホームページの応募フォームから
プロフェッサー・ビジット　検索
https://manabu.asahi.com/profvisit/

※お預かりした個人情報は、朝日新聞社において、以下の目的で利用します。（1）プロフェッサー・ビジットに関するご連絡やお問い合わせ対応（2）教育関連事業のご案内。朝日新聞社はお客さまの個人情報を、法令および個人情報保護方針（https://www.asahi.com/shimbun/reference/privacypolicy01.html）にしたがって安全かつ適切に取り扱います。